

認知症の方の心身の状況に応じた関わり方ができるようになる

実践！認知症ケア研修会 2018

東京会場

日時 2018年**3月4日**(日)
10:00~17:00

会場 **CIVI研修センター秋葉原**
(東京都千代田区神田須田町1-5-10)

参加費 (1講座) **3,000円**(税・資料代込)
(全講座) **10,000円**(税・全資料代込)

※「認知症ケア専門士」単位認定講座 申請中

大阪会場

日時 2018年**3月11日**(日)
10:00~17:00

会場 **天満研修センター**
(大阪府大阪市北区錦町2-21)

参加費 (1講座) **3,000円**(税・資料代込)
(全講座) **10,000円**(税・全資料代込)

※「認知症ケア専門士」単位認定講座 申請中

福岡会場

日時 2018年**3月18日**(日)
10:00~17:00

会場 **FFB HALL**(福岡ファッションビル)
(福岡県福岡市博多区博多駅前2-10-19)

参加費 (1講座) **3,000円**(税・資料代込)
(全講座) **10,000円**(税・全資料代込)

※「認知症ケア専門士」単位認定講座 申請中

この研修会に参加してほしい理由 **経験値に基づいたケア、生活歴だけを重要視する一方的なケアからの脱却**

- 参加のポイント①**
BPSDに対応するだけのマニュアル介護を見直す
- 参加のポイント②**
認知症の人の精神的・心理的負担を防ぐサポート
- 参加のポイント③**
生活機能の改善は安心・安全な生活を実現する重要な要素
- 参加のポイント④**
足りない人手、かさむ業務…職員を不適切ケアに追い込まない

第1講座 10:00 ~ 11:45	<p>テーマ</p> <p>認知症の人の気持ち ～ BPSD を疾患と人の両面から考える～</p> <p>「認知症の知識と理解」「観察力と想像力」「1人の人として捉えること」をキーワードに、介護の現場に必要な【人の心をくみ取ることの出来る感性】を磨いていただきます。</p>	 渡辺 哲弘氏
休憩		
第2講座 12:45 ~ 14:00	<p>テーマ</p> <p>認知症の方へのリハビリテーションとケア ～視点を少し変えた従来のアプローチの活用～</p> <p>地域で生活を続けていくための認知症の各ステージごとに実践できるリハビリテーションとケアを学ぶことで、ご家族、地域も巻き込んだリハビリテーションの実現につながるというプロセスを共に考えていきます。</p>	 川畑 智氏  浅野 有子氏
休憩		
第3講座 14:15 ~ 15:30	<p>テーマ</p> <p>認知症の方の生活行為向上の実践的アプローチ ～生活機能を改善するケアの工夫～</p> <p>個別支援のみだけでなく、小グループ活動を併せて提供することで「その人らしさ」が引き出すプログラム立案方法や、自宅でも再現できるような環境支援の具体例をご紹介します。</p>	 山口 健一氏  下村 美穂氏
休憩		
第4講座 15:45 ~ 17:00	<p>テーマ</p> <p>不適切ケアは、なぜ起きてしまうのか？ ～利用者理解にもつながる観点～</p> <p>現場で起きがちな「不適切なケア」を予防するためのポイントをつかむことで、「なぜ、このスタッフ（この利用者）はこういう行動をしてしまうのだろうか？」という疑問を解消する手がかりを手に入れていただけます。</p>	 べ ホス氏

第1講座 10:00～11:45

全会場



渡辺 哲弘氏
株式会社きらめき介護塾 代表取締役

テーマ 認知症の人の気持ち ～BPSDを疾患と人の両面から考える～

認知症ケア

- ・認知症の基本を振り返り、初心に戻ることの大切さを理解する
- ・「寄り添う」という言葉の意味を正しく理解する
- ・脳のしくみ「私達は普段どのように考え、どのように行動しているか」を理解する
- ・アルツハイマー型認知症の中核症状と行動・心理症状のつながりを理解する
- ・当事者の言葉から、目の前の人にはどんなケアを望んでいるのかを理解する
- ・「こころづかい」と「おもいやり」という視点で、認知症の人の言動を理解する

第2講座 12:45～14:00

東京会場

大阪会場
福岡会場



川畑 智氏
(株)Re学 代表取締役



浅野 有子氏
介護老人保健施設設涼風苑
リハビリ室長

テーマ 認知症の方へのリハビリテーションとケア ～視点を少し変えた従来のアプローチの活用～

認知症ケア

- 【東京会場】
- ・認知症の段階的リハビリテーション・ケアの基礎を学ぶ
 - ・認知症の方の「残存能力」を正しく理解する
 - ・非認知症の方が見落としてしまう認知症の方への対応
 - ・「不安の解消と自信の回復」を引き出すリハビリテーション
 - ・「感情記憶」を活用したリハビリテーションとケア
 - ・「不安→不満→不信→不穏」の流れを断つためのケア

- 【大阪・福岡会場】
- ・脳疾患の認知症を理解、薬物療法・非薬物療法の知識を整理
 - ・認知症の方へのリハビリテーションは脳機能不全の進行予防・脳機能の廃用症候群の予防
 - ・「作業」を「手段」に変えて生活機能を向上させる「作業療法のエッセンス」
 - ・認知症生活機能ガイドをもとに改善のヒントを共有
 - ・認知症は「認知機能障害」「遂行機能障害」が原因の生活障害
 - ・安心して現実を生きて暮らしていくということ（達成感が次の意欲につながる）
 - ・簡単な運動、簡単な机上の課題、生活場面でのリハビリテーション的ケアの体験

第3講座 14:15～15:30

東京会場

大阪会場
福岡会場



山口 健一氏
白木せいかつデザイン
作業療法士



下村 美穂氏
通所リハビリテーション
みなみの風 管理者

テーマ 認知症の方の生活行為向上の実践的アプローチ ～生活機能を改善するケアの工夫～

認知症ケア

- 【東京会場】
- ・認知症の方の「楽しい」を見つけることで治療アプローチになる！
 - ・認知症の方が拒否的な思考から肯定的な思考へシフトする関わり方
 - ・認知症の方と一緒に暮らしている家族への支援方法
 - ・認知症の方が自宅で安心して暮らせる環境調整

- 【大阪・福岡会場】
- ・生活歴の中に既にある「できること」を引き出すアセスメントの実践
 - ・認知症の方の生活行為向上プログラムの実際
 - ・家族と協働するための訪問指導や担当者会議の有効活用
 - ・家族の困りごとへの対応の実際～生活行為向上の視点から～
 - ・地域の支援者と協働するための社会参加場面への介入
 - ・認知症の方への支援目的と家族支援を区別し相互作用をもたせる
 - ・日頃から提供できる活動の引き出しを増やしておく

第4講座 15:45～17:00

全会場



ベ ホス氏
アプロクリエイト 代表

テーマ 不適切ケアは、なぜ起きてしまうのか？ ～利用者理解にもつながる観点～

認知症ケア

- 不適切なケアとはなにか？
 - ・不適切なケアと適切なケアをわけるもの
 - ・不適切なケアは、わかっていないから起きるのか？
- コミュニケーションの概念を膨らませよう
 - ・コミュニケーション=会話？
 - ・コミュニケーションの3つのプロセス
 - ・利用者に起きていることを3つのプロセスで振り返る
 - ・スタッフに起きていることを3つのプロセスで振り返る
- 不適切ケアを予防するコミュニケーションセンス「アップセット」
 - ・アップセットとは
 - ・アップセットが起きるメカニズム
 - ・アップセットの探究
 - ・アップセットを予防するポイント

お申し込み方法

- 申し込み用紙にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送していただくか、ホームページからお申し込みください。
- お申し込み後、入金のご案内をFAXまたは郵送にてお送りいたします。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 必要事項に漏れがないようにご記入をお願いいたします。

注意事項

- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。参加者の変更は可能です。
- 席順は決められておりません。研修当日、各分科会での着席順となります。

FAX 084-948-0641

FAX 送信の際は番号をよくお確かめの上、お間違のないようお願いいたします。

実践!認知症ケア研修会2018 参加申し込み書

ご希望の会場に○をしてください	3/4(日) 東京	3/11(日) 大阪	3/18(日) 福岡			
ご希望の講座に○をしてください	全講座	第1講座	第2講座	第3講座	第4講座	
ふりがな	①参加代表者		②			③
参加者名	職種	年数	職種	年数	職種	年数
	法人名			TEL		
請求先 書類送付先 住所	(□法人 □個人 ※どちらかに✓をつけてください)			連絡先		
	〒			□法人 □個人 ※どちらかに✓	FAX	
				携帯電話		

※上記個人情報は、当研究会の管理・運営にのみ使用します。

通所介護・通所リハの重要ポイント 介護報酬改定直前総点検!!



東京会場

2018年
日時 **3月2日(金)・3日(土)**
両日共に 10:30 ~ 16:15
会場 CIVI 研修センター秋葉原
(東京都千代田区 神田須田町 1-5-10 相鉄万世橋ビル 3F)
参加費 2日間 25,000円 (税・資料代込み)

大阪会場

2018年
日時 **3月9日(金)・10日(土)**
両日共に 10:30 ~ 16:15
会場 天満研修センター
(大阪府大阪市北区錦町 2-21)
参加費 2日間 25,000円 (税・資料代込み)

福岡会場

2018年
日時 **3月16日(金)・17日(土)**
両日共に 10:30 ~ 16:15
会場 FFBHALL (福岡ファッションビル)
(福岡県福岡市博多区博多駅前 2-10-19)
参加費 2日間 25,000円 (税・資料代込み)

講座 この時期だからこそ参加する価値がある！制度が求める重要ポイントを分かりやすくお伝えいたします！

1. 介護報酬改定の狙いと算定のポイント
2. デイでの介護報酬改定の対応と具体策
3. デイがすべき医療連携の具体策
4. 新制度での実地指導対応
5. 自立支援と重度化防止のケアの実践
6. 活動と参加でデイの機能強化

1 日目プログラム	
※講座テーマは変更になる場合がございます	
10:30	<p>【第1講座】 通所介護・通所リハがすべき介護報酬改定への対応と具体策 (東京) 講師：妹尾 弘幸氏 (大阪・福岡) 講師：宮野 茂氏</p> <p>今改定は、2025年に向けて「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」、「多様な人材の確保と生産性の向上」、「介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保」を目的としたものとなった。上記項目を実現し、4月からのスタートラインに過不足なく立ち、今後も生き残れる通所系サービスとなるために必要な具体策をお伝えする。</p>
12:00	
13:00	<p>【第2講座】 通所介護・通所リハがすべき医療連携の具体策 講師：高木 綾一氏</p> <p>今回の同時改定により、通所リハ・通所介護は「結果の出せる事業所」「医療機関と連携が出来る事業所」へのモデルチェンジが強く求められることが明確となった。通所リハと通所介護は医療機関や介護事業所との連携が必須となり、ケアやリハビリテーションの統合や退院（卒業）した利用者のマネジメントが強く求められる。国が定めたモデルとなり選ばれ生き残るための仕組みづくりについて詳細にお伝えする。</p>
14:30	
14:45	<p>【第3講座】 実地指導で慌てない！ 新基準での書類・加算などへの対応 講師：西村 栄一氏</p> <p>加算算定要件、人員基準、連携における記録など不正請求・記録なし・指定取り消しなどの報酬返還につながる対応は、事業所のイメージダウン、利用者減につながり、利用者への説明、法人収入の再申請など、予想以上に業務負担が増加し、役所からの信頼が急減する。今回の報酬制度改正のシミュレーションと影響分析を行い、4月から始まる新報酬・新基準を前に運営における注意点を分かりやすくお伝えする。</p>
16:15	

2 日目プログラム	
※講座テーマは変更になる場合がございます	
10:30	<p>【第4講座】 自立支援！重度化防止等の取り組み！ デイの質をどのように高めるのか 講師：宮脇 聡氏</p> <p>今回の同時改定の動向からデイが置かれている現状を理解し、デイの質を高め自立支援・重度化防止に必要な「お世話型介護からの脱却」、「手際の良い介護から専門的な介護への移行」「安心・安全・安定という目標からの脱却」という制度がデイに求める「質」を実現するためにしなければならないことを分かりやすくお伝えする。</p>
12:00	
13:00	<p>【特別講座】 2018年介護報酬改定の基本的な視点と 介護事業者のこれからの役割と期待 厚生労働省へ依頼中</p> <p>2018年の介護報酬改定は2025年の地域包括ケアシステム実現に向けた介護サービスの適正化と持続可能な制度の安定性を求めたものとなる。国・制度が求める介護事業者への期待される役割について新報酬に込めたねらいと算定のポイントについてお伝えする。</p>
14:30	
14:45	<p>【第5講座】 制度改定対応策の条件を整える！ 活動と参加を促進し、自立支援の専門ケアを 提供するためのデイ強化策 (東京・福岡) 講師：小室 貴之氏 (大阪) 講師：小山 樹氏</p> <p>4月からの制度改定では「効果的な自立支援へ専門的に取り組み結果を出す」ことが求められます。「ご利用者が地域で活躍できる場」を見つけるための第一歩として、在宅での活動と参加を引き出すための有益なアセスメントが必要となる。地域での共感を生み出し、利用者確保につながる専門的な自立支援の在り方についてお伝えする。</p>
16:15	

〈1日目 講師陣〉



宮野 茂氏

共創未来メディカルケア
代表取締役

【講座内容】

- ・自立支援のできるサービス提供体制（介護スキル）のあり方
- ・要介護中重度者（医療処置必要者）を受入れてできるサービス提供態勢の構築
- ・医療提供施設のリハ専門職および医師との連携体制の構築の方法
- ・認知症サポート医とのケアカンファレンスのあり方
- ・医療機関（急性期、回復期、在宅療養支援診療所）との情報共有（cloudの活用）のあり方 など

【プロフィール】

日本化薬株式会社での経営戦略室新規事業開発部長を経て、2000年社会福祉法人うらら副理事長となる。介護保険運営協議会委員、東京都第三者評価委員会委員、日本化薬メディカルケア代表取締役社長などをを経て現職。業界関係誌・紙への記事掲載・執筆も多数あり。

〈2日目 講師陣〉



宮脇 聡氏

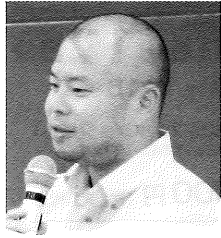
株式会社日本生科学研究所
介護事業本部副本部長

【講座内容】

- ・通所介護における改定事項（インセンティブ、サービス提供時間区分の見直し、心身機能の維持に係るアウトカム評価など）
- ・法令遵守のサービス提供（介護保険法・厚生省令の正しい理解）
- ・お世話の介護からの脱却と手際の良い介護から専門的な介護へ
- ・「安心・安全・安定」の目標からの脱却！日々の業務における通所介護計画の活用！

【プロフィール】

通所介護管理者・生活相談員など多くの管理業務を経て、2016年より現職。自社70事業所の運営責任者として管理する傍ら、自立支援型ケアマネジメント・サービス提供の啓発に務め、多数の自治体や各団体からの研修講師としても活動。主な執筆に「月刊デイ」「介護の経営と運営」「通所介護&リハ」などがある。



高木 綾一氏

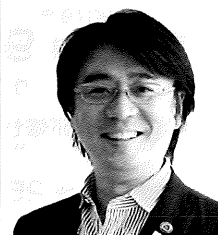
株式会社 Work Shift
代表取締役

【講座内容】

- ・「結果の出せる事業所」へのモデルチェンジ
- ・医療と介護の連携で求められる高い次元での連携
- ・ケアとリハビリテーションの統合
- ・退院（卒業）した利用者のマネジメント
- ・通所介護、通所リハは選ばれる時代（地域、病院、利用者など）

【プロフィール】

2000年当初より大阪府内にある大手医療法人にて、理学療法士として地域リハビリテーションに携わりながら、リハビリテーション部門の統括を始め、病院・介護施設・介護事業所のマネジメントを経験した。その後、2014年12月に株式会社 Work Shift を設立し代表取締役に就任し、全国にて医療・介護事業所のコンサルティング他、ヘルスケアビジネス支援、創業支援、キャリアデザインやマネジメントに関するセミナー講師で活躍中である。



小室 貴之氏

株式会社風の風
代表取締役

【講座内容】

- ・報酬改定、制度改正のバタバタからの脱却で持続可能なデイの運営
- ・はじめの一步は Barthel Index の測定で結果を出す
- ・アウトカム加算算定を意識したデイの運営
- ・活動と参加の支援で結果を出し、さらなる加算算定を目指す
- ・自立支援型アセスメントを身に付ける

【プロフィール】

リハビリ型デイの先駆モデル「デイサービス高ヶ坂」を平成15年に開設。短期満員を遂げ、以後、直営施設、FC施設、コンサルティング顧問先施設等、新規開設、業務改革、稼働率向上等数多く取り組み、その全てを成功へと導いている。通所関連の専門誌に連載多数。



西村 栄一氏

株式会社ヘルプス・アンド・カンパニー 代表取締役

【講座内容】

- ・医療介護の融合政策による地域包括ケアの深化、推進にどう乗るか？
- ・今回の報酬制度改正のシミュレーションと影響分析
- ・預かり型デイサービスを経営している私の勝ち試算
- ・地域共生社会の実現の試金石となる障害福祉事業への参入
- ・強化と共生型サービスの創設、その脅威
- ・人材戦略定着戦略と記録による意識改革
- ・さらに2、3年後を見据えた職員不足に備えた戦略
- ・加算取得の証拠のための記録
- ・今後の戦略3年後のインセンティブを見据えた記録

【プロフィール】

実地指導対策に関わって10年以上。自らの指定取消の体験からの「法令遵守」を基幹とした「リーダー育成」「自立支援の記録」「苦情対応」さらに、過去の実践「混合介護導入」「介護保険外サービス」を主題にコンサルティングを行う。業界誌・紙への執筆多数あり。



小山 樹氏

株式会社ジェネラス
代表取締役

【講座内容】

- ・今回の制度改正のポイント
(プラス改定と言わねども工夫しないと減算になる)
- ・アウトカムを出す評価について
(①活動と参加②次につなぐ③レスパイトの在り方)
- ・実例を基にした活動と参加のプログラム
- ・加算算定のポイント
- ・一気通貫のサービスと医療サービスとの連携 など

【プロフィール】

理学療法士として大学病院勤務を経て、1998年に独立・起業。24時間365日安心して生活できるための事業を展開。有益なリハビリテーションシステムの実現を目指し、訪問・通所などの介護保険事業を中心に保険外事業も行っている。



妹尾 弘幸氏

日本通所ケア研究会
会長

【講座内容】

- ・通所介護ですべき報酬改定への対応
- ・地域密着型デイですべき報酬改定への対応
- ・通所リハですべき報酬改定への対応
- ・認知症デイですべき報酬改定への対応
- ・今回の改定で通所系サービスに残された課題と新たな動き
- ・4月までにできること

【プロフィール】

株式会社 QOL サービス代表取締役として「月刊デイ」「介護の経営と運営」「リハージュ」「ケアレク」などの定期購読誌を発行する傍ら、同一市内に異なる8つのデイとサ高住、訪問介護・看護、看多機、グループホーム、ショートステイなどの介護事業を多数展開している。

お申し込み方法と注意事項

- 申し込み用紙にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送していただくか、ホームページからお申し込みください。
- お申し込み後、入金のご案内をFAXまたは郵送にてお送りいたします。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません参加者の変更は可能です。

同時改定対応特別セミナー 参加申し込み書

FAX 084-948-0641

ご希望の会場に○をしてください		3/2(金)・3(土) 東京会場	3/9(金)・10(土) 大阪会場	3/16(金)・17(土) 福岡会場
ふりがな		連絡先 (自宅・勤務先)		
氏名				
住所 (自宅・勤務先)				
勤務先				
		TEL		
		FAX		
		携帯		
		メール		
		職種		

※上記個人情報は、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシーポリシー」に従い適切に管理いたします。